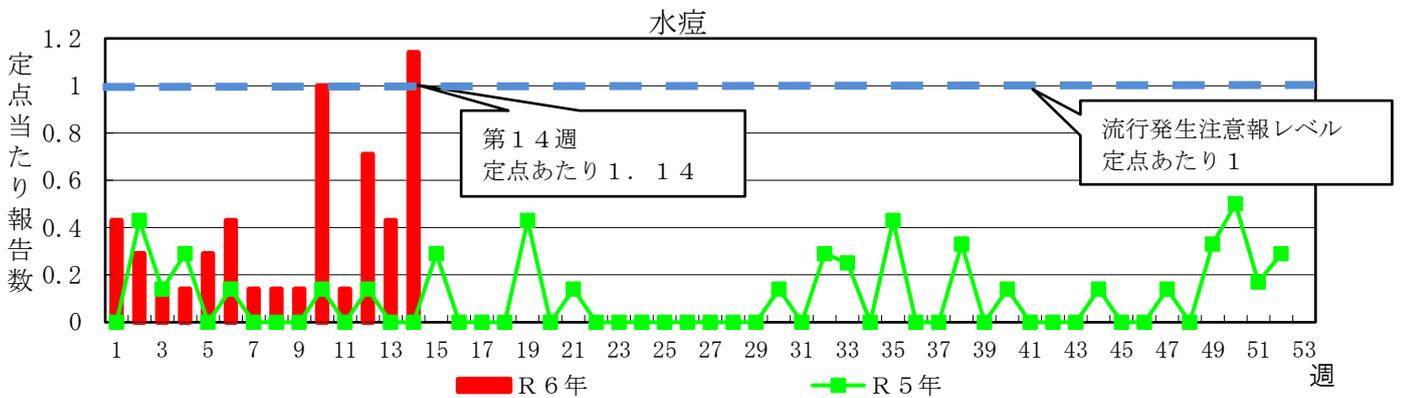


水痘（水ぼうそう）流行発生注意報を発表

市保健所管内（茅ヶ崎市・寒川町）では、2024年第14週（4月1日～4月7日）の感染症発生動向調査による水痘の発生状況が、1定点医療機関あたりの患者数が「1.14」となり、基準値となる「1」に達したため、水痘流行発生注意報を発表します。

※ 流行発生注意報とは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。水痘の場合は、1週間の定点医療機関あたりの患者数が1.0人を越えた場合に発表し、終息基準値の1を下回るまで継続します。

1 管内（茅ヶ崎市・寒川町）の水痘の発生状況



2 水痘とは

水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症で、「水ぼうそう」とも呼ばれます。主に、こどもが感染する病気で1～4歳ごろに最も多くみられ、水疱をともなう全身の発疹が特徴です。冬から春にかけて多くみられますが、年間を通して報告があります。感染症法では、5類感染症に分類されています。学校保健安全法では第2種感染症に定められており、水痘と診断された場合には、全ての発しんが痂皮化（かさぶたになる）するまでは出席停止となります。

(1) 感染経路と予防方法

水痘に感染した人の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むこと（飛まつ感染）、ウイルスのついた手で口や鼻の粘膜に触れること（接触感染）によって感染します。排出されたウイルスは空気中に長くとどまり感染力が強いことが特徴で、保育園や幼稚園・学校などでしばしば集団感染が見られます。予防としては、2014年10月から水痘ワクチンが定期接種で受けられるようになりました。1回目の接種を1歳過ぎに行い、それから3か月以上の期間をあけて2回目を接種します。

(2) 主な症状

感染してから10～21日後に、頭から、体幹部・手足に発疹が広がります。発疹は痒みが強く、発疹が現れる前後で、発熱や倦怠感、頭痛などを伴うことがあります。発熱は37～38度程度で、多くの場合2～3日間続きます。発疹は、丘疹、水疱、痂皮の順に変化して行きます。はじめに発疹が現れてから5日程度は新たな発疹が現れ続け、全ての発疹がかさぶたになるまでに1週間程度を要します。稀に、肺炎や脳症などの重篤な合併症を起こすことがあります。

(3) 対応

水痘に罹患したら、服薬や療養等について医師の指示に従い休養をとりましょう。